

## 【1 検証の趣旨】

- 3つの計画の期間満了に伴い、計画期間を通じたこれまでの取組の成果と課題を整理するもの。
- 既に、新・宮城の将来ビジョンの策定に繋げるため、2019年時点の進捗状況等に基づき、検証を実施し公表済であるが、計画期間最終年度の状況を踏まえ改定したもの。

## 【2 改定の内容】

- 目標指標に関する直近のデータを追加（計画期間全体の指標（実績値）の推移をグラフ化）
- 今年度の政策・施策評価（計画期間全体を俯瞰したもの）の結果を踏まえた記述の見直し
- 課題や対応方針、検証の総括に大幅な変更なし

### <宮城の将来ビジョンの検証の総括>

- ものづくり産業の県内立地・集積促進や雇用の創出など、「富県宮城の実現」に向けた様々な取組が実を結んでいるほか、保育所の整備や医学部設置による医師確保対策など「安心と活力に満ちた地域社会づくり」や、再生可能エネルギーの導入や水素エネルギーの利活用推進、震災の教訓を生かした災害に強いまちづくりや防災体制整備に取り組むなど、人と自然が調和した美しく安全な県土づくりが進展した。
- 一方で、少子化対策や出産・子育て環境の整備については、多様化する社会ニーズに柔軟に対応していく必要があり、教育分野においても、これまでの取組をより一層充実させていく必要がある。

### <震災復興計画の検証の総括>

- 震災復興計画策定以来、10年間のこれまでの進捗については、概ね順調に進捗してきた。ハード面については、一部継続となる事業があるものの、震災復興計画で目指してきた復興の姿は概ね達成しつつある。
- 一方で、被災者の心のケアや産業・生業の再生などのソフト面については、今後も中長期的な対応が必要な状況である。

### <地方創生総合戦略の検証の総括>

- 基本目標である「1 安定した雇用を創出する」、「2 宮城県への移住・定住の流れをつくる」及び「4 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る」については、政策効果が概ね発揮されている。
- 一方で、「3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については、保育所等利用待機児童数の解消など、取組の一層の強化が求められている。

## 【3 今後の取扱い】

- 検証の内容を踏まえ、新・宮城の将来ビジョンに基づき取組を推進
- 検証の内容については、県ホームページ上で公表